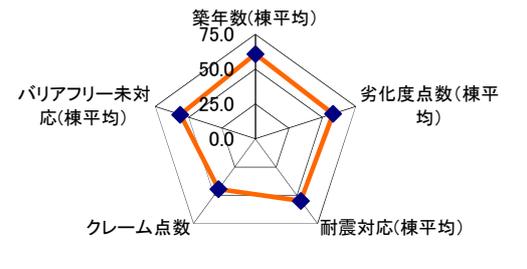
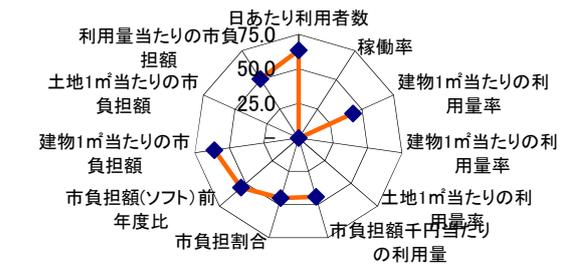
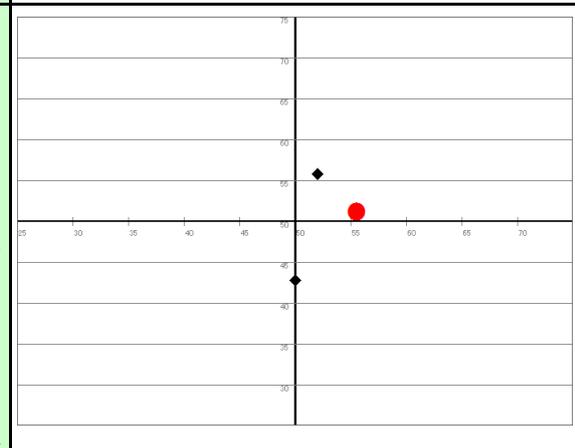
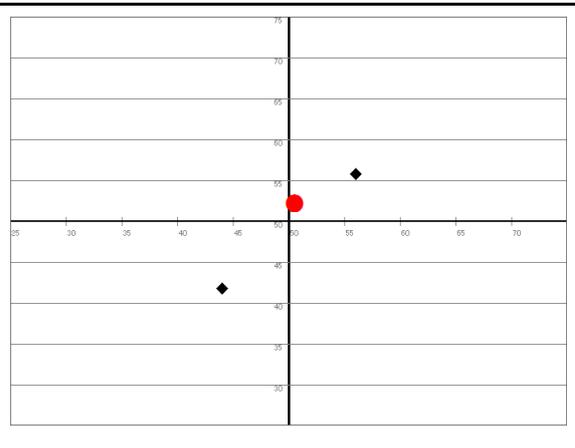


(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	2990			3.利用用途別分類	スポーツ施設						
2.施設名	宮崎市生目の杜運動公園			4.利用圏域別分類	広域・市域						
5.所在地(町名・番地)	跡江4461-1			15.設置根拠法令	都市公園法						
6.バス停	生目の杜運動公園(320m)			16.設置条例	宮崎市都市公園条例						
7.開設年月日	平成15年10月1日			17.市の計画	現状のまま当面は存続する						
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(MSG・ミズノグループ)			18. 外観							
9.指定管理期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日										
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	スポーツ振興と市民の健康増進を図るとともに、本市でのプロスポーツのキャンプや公式試合の開催を推進するため、市制施行70周年事業と位置づけ、総合的なスポーツ拠点施設として設置した。25年度はテニスコートに新たに照明設備を設置し機能充実を図った。			19. 内部							
13.主な利用者	プロスポーツ団体、各スポーツ競技団体、市民及び市内外の個人・団体等				20.避難所の指定(標高)	指定避難所		17.20 m			
14.利用者駐車可能台数	1,301台			21.投票所の指定	無						
22. 土地情報	土地面積	272,757.34 m ²			24. 建物情報	総延床面積	17,037.00 m ²				
	現況地目	公園				取得価額計(開始時簿価計)	5955863千円 (－)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・S・鉄骨				
	借受面積	0.00 m ²				建築年(主たる建物)	2003年				
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食		前年比%	建物所有状況	市有物件			
	利用者数	320,941	98.7	325,202		－	借受面積	0.00 m ²			
	開館日数	347	99.7	348		－	耐震対応(主たる建物)	対応済			
利用率	925	99.0	934	－		未利用スペース	0 m ²				
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	49,991	102.2	48,899	－		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	146,915	275.8	53,263	－
	使用料(減免後)②	48,158	99.4	48,429	－		施設のコスト	146,165	278.3	52,513	－
	その他③	1,833	390.0	470	－		事業のコスト	0	－	0	－
	《参考》 使用料減免額④	30,622	106.5	28,748	－		人に係るコスト	750	100.0	750	－
	指定管理者の収入計⑤	158,297	101.1	156,644	－		指定管理者の支出計⑨	157,943	100.5	157,098	－
	指定管理料⑥	157,728	102.0	154,600	－		施設のコスト	106,020	103.7	102,189	－
	利用料金収入	0	－	0	－		自主事業以外のコスト	7,972	111.4	7,158	－
	自主事業収入	569	27.8	2,044	－		自主事業のコスト	0	0.0	1,863	－
その他収入	0	－	0	－	人に係るコスト	43,951	95.8	45,888	－		
収入合計⑦	208,288	101.3	205,543	－	支出合計⑩	304,858	144.9	210,361	－		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	39	104.4	37	－	28.工事請負費・修繕費	111,828	1342.2	8,332	－		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	50,560	99.2	50,943	－	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	254,652	160.2	158,964	－		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	354	△ 78.0	△ 454	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	84	110.5	76	－		
32.施設所管課	スポーツランド推進課			33.施設主管課	スポーツランド推進課						

(2)施設評価シート

1.台帳番号	2990	3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市生目の杜運動公園	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A			
	品質評価の評価(偏差値)		55.0			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		51.6			
①品質評価	クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	12.900 年	60.9	25.800 年
			劣化度点数(棟平均)	0.300 件	58.0	1.900 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
			クレーム点数	4.000 点	44.7	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件
			評価値	55.0		
②供給評価	床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	925.000 人	63.4	457.000 人
			稼働率	50.100 %	-	%
			建物1㎡当たりの利用量率	0.054 人	43.0	0.291 人
			建物1㎡当たりの利用量率	台		台
			土地1㎡当たりの利用量率	人		人
			市負担額千円当たりの利用量	1.260	44.3	2.614
			評価値	50.2		
③財務評価	市負担割合の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			市負担割合	83.530 %	45.2	66.873 %
			市負担額(ソフト)前年度比	94.800 %	54.6	98.467 %
			建物1㎡当たりの市負担額	14.947 千円	61.0	29.699 千円
			土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
			利用量当たりの市負担額	0.793 千円	50.7	0.834 千円
			評価値	52.9		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)		

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	2990	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市生目の杜運動公園	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	総合的なスポーツ施設であるために、施設等の維持管理に費用を生じている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】クレーム点数 【原因】施設の簡易な補修の要望や利用方法等についての意見が、年数件程度寄せられている。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】①床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い②市負担額千円当たりの利用量が低い 【原因】無料公園施設と有料公園施設を併せ持ち、面積が広大である。また各種スポーツ大会開催やプロスポーツキャンプ、スポーツ合宿等の滞在型観光の推進を図る施設である。平日の利用が少なく、土日祝日に利用が多いという特徴がある。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】市負担割合の評価が低い 【原因】敷地面積が広大であり、また施設が多数あるため、施設等の維持管理に経費がかかるとともに、施設の改修に多額の経費を要する。平成28年度は、アイビススタジアム外野改修等金額の大きい工事を多数行った。	
5	定性的な要素の分析(総括)	県総合運動公園が類似施設である。距離も離れており、適切な箇所数と考える。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	なし	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市国際海浜エントランスプラザ、清武総合運動公園、青島パークゴルフ場	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	県総合運動公園	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道10号線から県道宮崎西環状線を約1km北上した位置にある。東九州自動車道宮崎西ICから車で約5分。駐車場は約1,300台駐車可能。直通バスは宮交シティ(ニトリ)から土日祝日のみ運行。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】46.4億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	本施設は市制施行70周年事業と位置づけ設置した。市民スポーツ、生涯スポーツの拠点施設であるとともにスポーツランドみやぎの推進と地域経済の振興の役割を担っている。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	2990	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市生目の杜運動公園	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとしては、日常点検を行いながら長寿命化を図ると共に、施設の修繕費用を削減するため、計画的に修繕する。 「質の向上」の取り組みとしては、指定管理者と連携しながらサービス向上を図ることで、更なる稼働率向上を上げ使用料収入を増やすと共に、使用料の適正化に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検を実施し、施設の長寿命化に取り組んでいく。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、修繕についての緊急度・優先度の把握に努め、計画的に取り組んでいく。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	市負担額の削減のために、施設修繕を必要な時期に必要なに応じて行うとともに、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	本市を代表する屋内外運動施設として、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	2990	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市生目の杜運動公園	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとしては、日常点検を行いながら長寿命化を図ると共に、施設の修繕費用を削減するため、計画的に修繕する。 「質の向上」の取り組みとしては、指定管理者と連携しながらサービス向上を図ることで、更なる稼働率向上を上げ使用料収入を増やすと共に、使用料の適正化に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	本施設は災害時の避難所としても利用することから、今後も施設点検を実施し、施設の長寿命化に取り組んでいく。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、修繕についての緊急度・優先度の把握に努め、計画的に取り組んでいく。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	市負担額の削減のために、施設修繕を必要な時期に必要なに応じて行うとともに、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	本市を代表する屋内外運動施設として、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	80040		3.利用用途別分類	スポーツ施設	
2.施設名	宮崎市青島パークゴルフ場		4.利用圏域別分類	広域・市域	
5.所在地(町名・番地)	加江田7470-3		15.設置根拠法令		
6.バス停	こどものくに正面ゲート(70m)		16.設置条例	宮崎市青島パークゴルフ場条例	
7.開設年月日	平成23年12月21日		17.市の計画	現状のまま当面は存続する	
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(宮崎交通株式会社)		18. 外観		
9.指定管理期間	平成29年4月1日～平成32年3月31日				
10.用途地域	その他				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	市民の健康増進、スポーツの振興、世代間の交流、青島の再生のために設置された、宮崎市内唯一のパークゴルフ場である。全36ホール、4コースを備える日本パークゴルフ協会公認コースであるものの、こどものくにに隣接することにより、競技者に加え、観光客や家族連れの利用も多い。利用者数の落ち込みが著しかったため、集客確保に向け雨天時割引料金の実施を検討している。		19. 内部		
					
13.主な利用者	市民、市外・県外来訪者、団体		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m	
14.利用者駐車可能台数	350台		21.投票所の指定	無	
22. 土地情報	土地面積	28,077.09 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	借受			
	借受面積	28,077.09 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	30,972	96.7	32,023	—
	開館日数	365	100.0	365	—
利用率	85	96.6	88	—	
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	73	1460.0	5	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	73	1460.0	5	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	16,161	95.9	16,858	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	16,029	95.1	16,858	—
	自主事業収入	132	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	16,234	96.3	16,863	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	16,234	96.3	16,863	—	
30.指定管理者の収支差引(⑤-⑨)	△ 6,757	266.1	△ 2,539	—	
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	5,294	192.9	2,745	—
	施設のコスト	4,544	227.8	1,995	—
	事業のコスト	0	—	0	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	22,918	118.2	19,397	—
	施設のコスト	12,673	99.5	12,732	—
	自主事業以外のコスト	1,298	81.3	1,597	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	8,947	176.5	5,068	—	
支出合計⑩	28,212	127.4	22,142	—	
28.工事請負費・修繕費	3,769	329.2	1,145	—	
31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	5,221	190.5	2,740	—	
市負担割合(%) (⑪÷⑩)	19	149.5	12	—	
32.施設所管課	スポーツランド推進課		33.施設主管課	スポーツランド推進課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	80040	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	宮崎市青島パークゴルフ場	4.利用圏域別分類	広域・市域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満		A				
	品質評価の評価(偏差値)		52.4				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		55.7				
①品質評価	クレーム点数の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			築年数(棟平均)	24.000 年	51.5	25.800 年	
			劣化度点数(棟平均)	1.000 件	54.5	1.900 件	
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	
			クレーム点数	4.000 点	44.7	4.500 点	
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件	
			評価値			52.4	
②供給評価	利用量率の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			日あたり利用者数	85.000 人	39.4	457.000 人	
			稼働率		%		%
			建物1㎡当たりの利用量率	0.771 人	64.1	0.291 人	
			建物1㎡当たりの利用量率		台		台
			土地1㎡当たりの利用量率		人		人
			市負担額千円当たりの利用量	5.932	64.1	2.614	
			評価値			55.9	
③財務評価	建物1㎡当たり市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	
			市負担割合	18.510 %	63.9	66.873 %	
			市負担額(ソフト)前年度比	91.000 %	59.3	98.467 %	
			建物1㎡当たりの市負担額	47.464 千円	36.8	29.699 千円	
			土地1㎡当たりの市負担額		千円		千円
			利用量当たりの市負担額	0.169 千円	61.9	0.834 千円	
			評価値			55.5	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図				
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)			

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	80040	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市青島パークゴルフ場	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	総合的なスポーツ施設であるために、施設等の維持管理に費用を生じている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修の要望や利用方法等についての意見が、年数件程度寄せられている。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】利用率【原因】類似施設の生目の杜運動公園等では、野球場や体育館等の施設を団体で使用するが、青島パークゴルフ場は個人での利用となるため、利用者数に差が生じている。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】敷地面積が広大であり、施設等の維持管理に経費がかかるとともに、施設の改修に多額の経費を要する。	
5	定性的な要素の分析(総括)	近隣に市、県、民間の類似施設は存在していない。また、交通事情は非常に良好。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市自然休養村センター、青島シーガル街区公園、青島歴史文化広場、松添街区公園、宮崎市南消防署 青島出張所	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	生目の杜運動公園、総合体育館、障がい者体育センター、清武総合運動公園	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	県総合運動公園	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道220号線沿いに位置し、こどものくにホテル前バス停下車徒歩1分、JR子供の国駅下車徒歩1分と交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	民間施設の借り上げのため非該当	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	利用料金収入額が管理運営業務費を上回った場合、その差額が一定の割合で市に納付される。	

(2) 施設評価シート

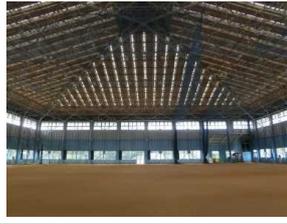
施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	80040	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市青島パークゴルフ場	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとしては、日常点検を行いながら長寿命化を図ると共に、施設の修繕費用を削減するため、計画的に修繕する。 「質の向上」の取り組みとしては、指定管理者と連携しながらサービス向上を図ることで、更なる稼働率向上を上げ使用料収入を増やすと共に、使用料の適正化に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	本施設は築7年しか経過していないが、今後も施設点検を実施し、施設の長寿命化に取り組んでいく。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、修繕についての緊急度・優先度の把握に努め、計画的に取り組んでいく。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	市負担額の削減のために、施設修繕を必要な時期に必要なに応じて行うとともに、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	本市を代表する屋内外運動施設として、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見あり(別紙 3ページ参照)	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	80040	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市青島パークゴルフ場	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとしては、日常点検を行いながら長寿命化を図ると共に、施設の修繕費用を削減するため、計画的に修繕する。 「質の向上」の取り組みとしては、指定管理者と連携しながらサービス向上を図ることで、更なる稼働率向上を上げ使用料収入を増やすと共に、使用料の適正化に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	本施設は築7年しか経過していないが、今後も施設点検を実施し、施設の長寿命化に取り組んでいく。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、修繕についての緊急度・優先度の把握に努め、計画的に取り組んでいく。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	市負担額の削減のために、施設修繕を必要な時期に必要なに応じて行うとともに、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	本市を代表する屋内外運動施設として、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	3080	3.利用用途別分類	スポーツ施設								
2.施設名	清武総合運動公園	4.利用圏域別分類	広域・市域								
5.所在地(町名・番地)	清武町今泉甲530	15.設置根拠法令	都市公園法								
6.バス停	今泉神社前(630m)	16.設置条例	宮崎市都市公園条例								
7.開設年月日	平成9年4月1日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する								
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(S&N)	18. 外観	 								
9.指定管理期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日										
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	旧清武町域のスポーツ拠点施設ではなく、プロスポーツのキャンプ施設として対応できる総合運動公園として位置づけ、これまでSOKKENスタジアムや屋内練習場、多目的広場の改修をはじめ、トレーニングルームの整備などをおこなってきた。		19. 内部	 							
13.主な利用者	市民及び市内外の個人・団体等										
14.利用者駐車可能台数	795台										
20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m										
21.投票所の指定	無										
22. 土地情報	土地面積	400,204.43 m ²		24. 建物情報	総延床面積	7,440.83 m ²					
	現況地目	宅地			取得価額計(開始時簿価計)	917184千円 (—)					
	土地所有形態	所有			階数・構造(主たる建物)	地上2階・RC・鉄筋コンクリート					
	借受面積	0.00 m ²			建築年(主たる建物)	2000年					
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	128,965	110.9	116,302	—	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	358	99.4	360	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	360	111.5	323	—	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	1,300	391.6	332	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	83,976	98.4	85,351	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	83,226	98.4	84,601	—
	その他③	1,300	391.6	332	—		事業のコスト	0	—	0	—
	《参考》 使用料減免額④	17,293	124.8	13,855	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	131,572	104.8	125,597	—		指定管理者の支出計⑨	117,448	114.2	102,826	—
	指定管理料⑥	115,887	100.6	115,188	—		施設のコスト	82,167	115.6	71,092	—
	利用料金収入	14,296	157.3	9,086	—		自主事業以外のコスト	11,154	112.3	9,935	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	1,389	105.0	1,323	—	人に係るコスト	24,127	110.7	21,799	—		
収入合計⑦	132,872	105.5	125,929	—	支出合計⑩	201,424	107.0	188,177	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	100	100.0	100	—	28.工事請負費・修繕費	52,554	78.4	67,018	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	16,985	158.1	10,741	—	31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	198,563	99.2	200,207	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	14,124	62.0	22,771	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	99	92.7	106	—		
32.施設所管課	スポーツランド推進課		33.施設主管課	スポーツランド推進課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3080	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	清武総合運動公園	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.基礎評価					
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満	C			
	品質評価の評価(偏差値)	50.3			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	42.8			
① 品質評価 クレーム点数の評価がかなり低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	12.400 年	61.3	25.800 年
		劣化度点数(棟平均)	1.100 件	54.0	1.900 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
		クレーム点数	3.000 点	34.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.300 件	47.2	0.900 件
		評価値	50.3		
② 供給評価 利用量率の評価が低い。 床面積1㎡当たりの利用量率の評価が低い。 市負担額千円当たりの利用量の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	360.000 人	47.2	457.000 人
		稼働率	30.400 %	-	%
		建物1㎡当たりの利用量率	0.048 人	42.8	0.291 人
		建物1㎡当たりの利用量率	台		台
		土地1㎡当たりの利用量率	人		人
		市負担額千円当たりの利用量	0.649	41.7	2.614
		評価値	43.9		
③ 財務評価 市負担割合の評価が低い。 市負担額(ソフト)前年比の評価がかなり低い。 利用量当たりの市負担額の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
		市負担割合	98.580 %	40.9	66.873 %
		市負担額(ソフト)前年度比	109.600 %	36.1	98.467 %
		建物1㎡当たりの市負担額	26.686 千円	52.2	29.699 千円
		土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
		利用量当たりの市負担額	1.540 千円	37.4	0.834 千円
		評価値	41.7		
品質評価の分布図					
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)					
供給評価(横) / 財務評価(縦)					

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3080	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	清武総合運動公園	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	総合的なスポーツ施設であるために、施設等の維持管理に費用を生じている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】クレーム点数【原因】施設の簡易な補修の要望や利用方法等についての意見が、年数件程度寄せられている。 ②【評価指標】バリアフリー未対応【原因】屋外トイレや投球練習場などのバリアフリーへの対応がなされていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】①利用率の評価が低い②床面積1㎡当たりの利用率の評価が低い③市負担額千円当たりの利用量が低い 【原因】無料公園施設と有料公園施設を併せ持ち、面積が広大である。また各種スポーツ大会開催やプロスポーツキャンプ、スポーツ合宿等の滞在型観光の推進を図る施設である。平日の利用が少なく、土日祝日に利用が多いという特徴がある。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】①市負担割合の評価が低い②市負担額(ソフト)前年比の評価がかなり低い。③利用量当たりの市負担額の評価がかなり低い。 【原因】敷地面積が広大であり、また施設が多数あるため、施設等の維持管理に経費がかかるとともに、施設の改修に多額の経費を要する。平成28年度は、第1テニスコート人工芝改修等金額の大きい工事を多数行った。	
5	定性的な要素の分析(総括)	施設規模には差があるが、同じ利用用途の施設は点在している。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	総合体育館、障がい者体育センター、谷ノ口農村公園	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	生目の杜運動公園、総合体育館、障がい者体育センター、青少年プラザ、国際海浜エントランスプラザ、宮崎中央公園、生目台公園、青島パークゴルフ場	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	県総合運動公園	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	地震発生時の広域避難所	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道269号線から県道大久保・木崎線を東へ約5分した位置にある。東九州自動車道清武ICから車で約5分。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2040-2050年代 【建て替えの事業費(概算)】67.8億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	本施設は旧清武町域の拠点施設としての機能だけでなく、プロ野球やJリーグキャンプ受入に向け整備されたこともあり、市民スポーツ、生涯スポーツの拠点施設であるとともにスポーツランドみやぎきの推進と地域経済の振興の役割を担っている。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3080	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	清武総合運動公園	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとしては、日常点検を行いながら長寿命化を図ると共に、施設の修繕費用を削減するため、計画的に修繕する。 「質の向上」の取り組みとしては、指定管理者と連携しながらサービス向上を図ることで、更なる稼働率向上を上げ使用料収入を増やすと共に、使用料の適正化に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	本施設は地震発生時の広域避難所としても利用することから、今後も施設点検を実施し、施設の長寿命化に取り組んでいく。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、修繕についての緊急度・優先度の把握に努め、計画的に取り組んでいく。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	市負担額の削減のために、施設修繕を必要な時期に必要なに応じて行うとともに、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	本市を代表する屋内外運動施設として、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3080	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	清武総合運動公園	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとしては、日常点検を行いながら長寿命化を図ると共に、施設の修繕費用を削減するため、計画的に修繕する。 「質の向上」の取り組みとしては、指定管理者と連携しながらサービス向上を図ることで、更なる稼働率向上を上げ使用料収入を増やすと共に、使用料の適正化に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	本施設は地震発生時の広域避難所としても利用することから、今後も施設点検を実施し、施設の長寿命化に取り組んでいく。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外するとき	指定管理者と連携し、修繕についての緊急度・優先度の把握に努め、計画的に取り組んでいく。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	市負担額の削減のために、施設修繕を必要な時期に必要なに応じて行うとともに、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外するとき	施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	本市を代表する屋内外運動施設として、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	3050				3.利用用途別分類	スポーツ施設					
2.施設名	宮崎市総合体育館				4.利用圏域別分類	広域・市域					
5.所在地(町名・番地)	宮崎駅東一丁目2-7				15.設置根拠法令	スポーツ基本法					
6.バス停	文化の森(170m)				16.設置条例	宮崎市立体育館条例					
7.開設年月日	昭和57年2月20日				17.市の計画	現状のまま当面は存続する					
8.施設運営形態(指定管理者)	指定管理者(公益財団法人宮崎市体育協会)				18. 外観						
9.指定管理期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日					19. 内部					
10.用途地域	第二種住居地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	スポーツ振興と市民の健康増進を図るため、バレーやバスケットボールなどの屋内競技だけでなく、柔道や剣道などの武道競技にも対応できる、宮崎を代表とする屋内体育施設(体育館)として宮崎刑務所跡地に設置した。なお、利用者の利便性を向上させるため、平成21年度に立体駐車場を整備し、平成26年度から中央公園テニスコートを追加して管理運営を行っている。										
13.主な利用者	市民及び市内外の個人・団体等				20.避難所の指定(標高)	指定避難所		6.20 m			
14.利用者駐車可能台数	485台				21.投票所の指定	有					
22. 土地情報	土地面積	7,751.35 m ²				24. 建物情報	総延床面積	20,675.28 m ²			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	2920028千円 (－)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上2階 地下1階・SRC・鉄筋鉄骨コンクリート			
	借受面積	0.00 m ²					建築年(主たる建物)	1982年			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		法定点検(主たる建物)	対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	195,592	94.5	206,952	－	借受面積	0.00 m ²				
	開館日数	342	98.3	348	－	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率率	572	96.1	595	－	未利用スペース	0 m ²					
25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算		26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	18,965	81.8	23,172	－		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	26,482	153.3	17,271	－
	使用料(減免後)②	18,354	79.8	23,004	－		施設のコスト	25,732	155.8	16,521	－
	その他③	611	363.7	168	－		事業のコスト	0	－	0	－
	《参考》 使用料減免額④	5,002	110.6	4,523	－		人に係るコスト	750	100.0	750	－
	指定管理者の収入計⑤	50,195	101.9	49,266	－		指定管理者の支出計⑨	48,527	100.8	48,122	－
	指定管理料⑥	49,847	101.9	48,937	－		施設のコスト	29,359	100.2	29,308	－
	利用料金収入	0	－	0	－		自主事業以外のコスト	887	103.0	861	－
	自主事業収入	348	105.8	329	－		自主事業のコスト	453	103.7	437	－
その他収入	0	－	0	－	人に係るコスト	17,828	101.8	17,516	－		
収入合計⑦	69,160	95.5	72,438	－	支出合計⑩	75,009	114.7	65,393	－		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	21	130.3	16	－	28.工事請負費・修繕費	8,965	696.0	1,288	－		
29.施設経営における実質的な 収入(⑦-⑥)	19,313	82.2	23,501	－	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	57,364	133.3	43,036	－		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	1,668	145.8	1,144	－	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	76	116.2	66	－		
32.施設所管課	スポーツランド推進課				33.施設主管課	スポーツランド推進課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3050	3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市総合体育館	4.利用圏域別分類	広域・市域			
5.基礎評価						
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満					
	品質評価の評価(偏差値)		52.3			
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		-			
①品質評価	劣化度数(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			築年数(棟平均)	17.800 年	56.7	25.800 年
			劣化度数(棟平均)	3.500 件	42.0	1.900 件
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点
			クレーム点数	5.000 点	55.3	4.500 点
			バリアフリー未対応(棟平均)	0.500 件	52.8	0.900 件
			評価値	52.3		
②供給評価		指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			日あたり利用者数	572.000 人	-	人
			稼働率	49.100 %	-	%
			建物1㎡当たりの利用量率	0.028 人	-	人
			建物1㎡当たりの利用量率	台		台
			土地1㎡当たりの利用量率	人		人
			市負担額千円当たりの利用量	3.410	-	-
			評価値	-		
③財務評価		指標の結果	評価指標	平成28年度	偏差値	平均
			市負担割合	76.480 %	-	%
			市負担額(ソフト)前年度比	115.900 %	-	%
			建物1㎡当たりの市負担額	2.775 千円	-	千円
			土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円
			利用量当たりの市負担額	0.293 千円	-	千円
			評価値	-		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図			
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)				

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3050	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市総合体育館	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	施設建設から35年以上経過しており老朽化が進んでいるため、随時修繕工事等を行っている。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	【評価指標】劣化度数(棟平均)の評価が低い。【原因】老朽化が進んでおり、外壁の爆裂部等がみられる。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	平成28年度はキュービクル設備改修や外壁改修に向けた設計委託を執行し、市負担額が増えたにもかかわらず、利用者数は下がった。	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	大規模な施設であるため、施設等の維持管理に経費がかかるとともに、施設の改修に多額の経費を要する。平成28年度はキュービクル設備改修等工事を多数実施し、また外壁改修に向けた設計委託も行った。	
5	定性的な要素の分析(総括)	市全域に同じ利用用途の体育館施設は点在しているが、大規模かつ複合的な設備(柔道場、剣道場、弓道場、会議室等)を備えた施設は他にない。また、近隣同規模の県体育館と違い1階体育室に空調設備を備え、各種イベント等の受け入れも可能である。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎科学技術館、中央公民館、市保健所・中央保健センター、宮崎駅南自転車駐車場、宮崎中央公園、東部土地区画整理事業 仮設住宅、宮崎市男女共同参画センター、介護認定審査室、下原町第2自転車保管所、下原街区公園、下原町自転車保管所、江平自転車歩行者道公衆便所(下原町)、宮崎駅北自転車駐車場、宮崎市榎児童センター外11箇所	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	生目の杜運動公園、障がい者体育センター、青少年プラザ、国際海浜エントランスプラザ、宮崎中央公園、生目台公園、清武総合運動公園、青島パークゴルフ場	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	県体育館	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	宮崎駅東口より徒歩5分の位置にあり、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2030年代,2050年代 【建て替えの事業費(概算)】39.3億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	本施設は大規模な指定避難所である。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3050	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市総合体育館	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとしては、日常点検を行いながら長寿命化を図ると共に、施設の修繕費用を削減するため、計画的に修繕する。「質の向上」の取り組みとしては、指定管理者と連携しながらサービス向上を図ることで、更なる稼働率向上を上げ使用料収入を増やすと共に、使用料の適正化に取り組む。また、立体駐車場の活用方法等の検討を行う。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	本施設は指定避難所としても利用することから、今後も施設点検を実施し、施設の長寿命化に取り組んでいく。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、修繕についての緊急度・優先度の把握に努め、計画的に取り組んでいく。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	市負担額の削減のために、施設修繕を必要な時期に必要なに応じて行うとともに、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。また、立体駐車場の利活用についても検討する。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	本市を代表する屋内外運動施設として、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3050	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市総合体育館	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。 「総量の最適化」の取り組みとしては、日常点検を行いながら長寿命化を図ると共に、施設の修繕費用を削減するため、計画的に修繕する。「質の向上」の取り組みとしては、指定管理者と連携しながらサービス向上を図ることで、更なる稼働率向上を上げ使用料収入を増やすと共に、使用料の適正化に取り組む。また、立体駐車場の活用方法等の検討を行う。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	本施設は指定避難所としても利用することから、今後も施設点検を実施し、施設の長寿命化に取り組んでいく。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	指定管理者と連携し、修繕についての緊急度・優先度の把握に努め、計画的に取り組んでいく。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	市負担額の削減のために、施設修繕を必要な時期に必要なに応じて行うとともに、使用料収入の増加に向けた取り組みを行う。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	施設稼働率の増加に向けた取り組みを行い、使用料収入の増額を図る。また、立体駐車場の利活用についても検討する。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	本市を代表する屋内外運動施設として、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	

施設カルテ
(1)施設基本情報シート

平成29年度

1.台帳番号	3810	3.利用用途別分類	スポーツ施設		
2.施設名	宮崎市障がい者体育センター	4.利用圏域別分類	広域・市域		
5.所在地(町名・番地)	恒久5132	15.設置根拠法令			
6.バス停	整備工場入口(230m)	16.設置条例	宮崎市障がい者体育センター条例		
7.開設年月日	昭和55年10月9日	17.市の計画	現状のまま当面は存続する		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	その他		19. 内部		
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	平成13年に「独立行政法人雇用能力開発機構」から譲渡された屋内体育施設(体育館)で、市内で唯一の障がい者のための体育施設である。				
13.主な利用者	身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている障がい者		20.避難所の指定(標高)	指定避難所 7.70 m	
14.利用者駐車可能台数	30台		21.投票所の指定	有	
22. 土地情報	土地面積	3,782.59 m ²			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m ²			
23. 利用情報	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	13,851	95.9	14,437	-
	開館日数	335	99.7	336	-
	利用率	41	95.3	43	-
24. 建物情報	総延床面積	1,076.08 m ²			
	取得価額計(開始時簿価計)	111380千円 (一)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・SRC・鉄筋鉄骨コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1980年			
	法定点検(主たる建物)	対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m ²			
	耐震対応(主たる建物)	未対応			
	未利用スペース	0 m ²			
	25. 収入	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		607	82.8	733	-
使用料(減免後)②		551	80.9	681	-
その他③		56	107.7	52	-
《参考》 使用料減免額④		0	-	0	-
指定管理者の収入計⑤		0	-	0	-
指定管理料⑥		0	-	0	-
利用料金収入		0	-	0	-
自主事業収入		0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	
収入合計⑦	607	82.8	733	-	
26. 支出	(区分・単位)	平成28年度決算		平成27年度決算	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	11,240	104.1	10,796	-
	施設のコスト	3,640	113.9	3,196	-
	事業のコスト	0	-	0	-
	人に係るコスト	7,600	100.0	7,600	-
	指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	施設のコスト	0	-	0	-
	自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業のコスト	0	-	0	-
人に係るコスト	0	-	0	-	
支出合計⑩	11,240	104.1	10,796	-	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	0	-	0	-	
28.工事請負費・修繕費	241	77.0	313	-	
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	607	82.8	733	-	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		0		
	-		-		
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	10,633	105.7	10,063	-
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	95	101.5	93	-
32.施設所管課	障がい福祉課		33.施設主管課	障がい福祉課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	3810	3.利用用途別分類	スポーツ施設																																
2.施設名	宮崎市障がい者体育センター	4.利用圏域別分類	広域・市域																																
5.基礎評価																																			
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上																																		
	B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上																																		
	C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満																																		
	D: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満																																		
	品質評価の評価(偏差値)		46.4																																
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		-																																
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度点数(棟平均)の評価がかなり低い。 クレーム点数の評価が低い。	指標の結果 築年数(棟平均) 劣化度点数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成28年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>36.000 年</td> <td>41.4</td> <td>25.800 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度点数(棟平均)</td> <td>5.000 件</td> <td>34.5</td> <td>1.900 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>5.000 点</td> <td>54.9</td> <td>4.700 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>4.000 点</td> <td>44.7</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>56.3</td> <td>0.900 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>46.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	36.000 年	41.4	25.800 年	劣化度点数(棟平均)	5.000 件	34.5	1.900 件	耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点	クレーム点数	4.000 点	44.7	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件	評価値		46.4					
			評価指標	平成28年度	偏差値	平均																													
			築年数(棟平均)	36.000 年	41.4	25.800 年																													
			劣化度点数(棟平均)	5.000 件	34.5	1.900 件																													
			耐震対応(棟平均)	5.000 点	54.9	4.700 点																													
			クレーム点数	4.000 点	44.7	4.500 点																													
バリアフリー未対応(棟平均)	0.000 件	56.3	0.900 件																																
評価値		46.4																																	
②供給評価	②供給評価 日あたり利用者数 稼働率 建物1㎡当たりの利用量率 建物1㎡当たりの利用量率 土地1㎡当たりの利用量率 市負担額千円当たりの利用量	指標の結果 日あたり利用者数 稼働率 建物1㎡当たりの利用量率 建物1㎡当たりの利用量率 土地1㎡当たりの利用量率 市負担額千円当たりの利用量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成28年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>41.000 人</td> <td>-</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>85.100 %</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>0.038 人</td> <td>-</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td>台</td> <td></td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td>人</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>1.303</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	41.000 人	-	人	稼働率	85.100 %	-	%	建物1㎡当たりの利用量率	0.038 人	-	人	建物1㎡当たりの利用量率	台		台	土地1㎡当たりの利用量率	人		人	市負担額千円当たりの利用量	1.303	-	-	評価値		-	
			評価指標	平成28年度	偏差値	平均																													
			日あたり利用者数	41.000 人	-	人																													
			稼働率	85.100 %	-	%																													
			建物1㎡当たりの利用量率	0.038 人	-	人																													
			建物1㎡当たりの利用量率	台		台																													
土地1㎡当たりの利用量率	人		人																																
市負担額千円当たりの利用量	1.303	-	-																																
評価値		-																																	
③財務評価	③財務評価 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額	指標の結果 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建物1㎡当たりの市負担額 土地1㎡当たりの市負担額 利用量当たりの市負担額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>平成28年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>94.600 %</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>106.600 %</td> <td>-</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>9.881 千円</td> <td>-</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td>千円</td> <td></td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.768 千円</td> <td>-</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	平成28年度	偏差値	平均	市負担割合	94.600 %	-	%	市負担額(ソフト)前年度比	106.600 %	-	%	建物1㎡当たりの市負担額	9.881 千円	-	千円	土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円	利用量当たりの市負担額	0.768 千円	-	千円	評価値		-					
			評価指標	平成28年度	偏差値	平均																													
			市負担割合	94.600 %	-	%																													
			市負担額(ソフト)前年度比	106.600 %	-	%																													
			建物1㎡当たりの市負担額	9.881 千円	-	千円																													
			土地1㎡当たりの市負担額	千円		千円																													
利用量当たりの市負担額	0.768 千円	-	千円																																
評価値		-																																	
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図 																																
	品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)	供給評価(横) / 財務評価(縦)																																	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)		平成29年度	
台帳番号	3810	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市障がい者体育センター	利用圏域別分類	広域・市域
1	基礎評価の分析(総括)	前年度に比べ、使用料収入が減ったが、原因としては施設の設置目的でもある、障がい者の使用が増加したことによる。障がい者の施設使用は目的内として無料になることから障がい者の使用が増えることで、全体の使用料収入は減少することになる。	
2	品質評価分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	①【評価指標】築年数(棟平均)【原因】建築後36年が経過している。 ②【評価指標】劣化度数(棟平均)【原因】経年劣化により出入り口の開閉がしにくいところなどがある。 ③【評価指標】クレーム点数【原因】平成28年8月に落雷の影響によりバスケットゴールが降りたまま作動しなくなり、他種目での利用に支障がでているとの苦情が数件寄せられている。	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評価指標、平均点未満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分析(総括)	市内に同じ利用用途の施設が点在しているが、障がい者の使用を目的とした施設は本施設のみである。	
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	大淀地域事務所、宮崎南小学校、南部老人福祉センター、共同利用施設源藤センター、共同利用施設吉永センター、上恒久3号街区公園	
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市生目の杜運動公園、宮崎市総合体育館、清武総合運動公園、宮崎市青島パークゴルフ場	
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎県体育館、KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園	
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	指定避難所	
10	交通事情(幹線道路および公共交通機関)の状況	国道220号線宮崎南バイパスに隣接しており、施設の近くにバス停留所があるなど、交通事情は良好である。	
11	施設の所在地付近における現在人口および将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】399,979人(平成28年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】355,433人(平成52年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値)	
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2030年代 【建て替えの事業費(概算)】3.2億円程度	
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	センターの指導員として、障がい者を2名雇用しており、障がい者の就労の場としての役割も果たしている。	

(2) 施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3810	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市障がい者体育センター	利用圏域別分類	広域・市域
14	総合評価(案)(総括)	建物の評価(案)は「継続」、機能の評価(案)は「継続」とする。「総量の適正化」の取り組みとして、建物の将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、維持管理費の削減に取り組む。	
15	建物の評価(案) ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
16	建物の評価(案)の理由	基礎評価の品質は平均点未満で、築30年を超えるが、スロープ、障がい者用トイレをはじめ障がい者の利用に配慮した施設であり、障がい者の心身の健全な発達を図る場を確保する観点からも現サービスの継続を前提として、建物を継続する。	
17	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組(案) ※15が「処分」以外のとき	必要な修繕を早めに行うなど、建物の将来の修繕更新費用を削減するための計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
18	機能の評価(案) ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
19	機能の評価(案)の理由	障がい者の施設利用は増加しており、市内唯一の障がい者の心身の健全な発達を図ることを目的とする施設として現サービスを継続して提供する。また、施設の指導員として障がい者2名を雇用しており、障がい者の就労の場としても現在の重要な役割を果たしている。	
20	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組(案) ※18が「廃止」以外のとき	維持管理費の削減、障がい者以外の使用者の負担する使用料の適正化に取り組む。	
21	経営の方向性(案) ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	本市を代表する屋内外運動施設として、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	
22	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
24	アンケート(施設利用者)	対象外	

(2)施設評価シート

施設評価(H29)			平成29年度
台帳番号	3810	利用用途別分類	スポーツ施設
施設名	宮崎市障がい者体育センター	利用圏域別分類	広域・市域
26	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」、機能の評価は「継続」とする。「総量の適正化」の取り組みとして、建物の将来の修繕更新費用を削減するために計画的な保全に取り組む。「質の向上」の取り組みとして、維持管理費の削減に取り組む。	
27	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡、貸付)から選択	継続	
28	建物の評価の理由	基礎評価の品質は平均点未滿で、築30年を超えるが、スロープ、障がい者用トイレをはじめ障がい者の利用に配慮した施設であり、障がい者の心身の健全な発達を図る場を確保する観点からも現サービスの継続を前提として、建物を継続する。	
29	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※28が「処分」以外のとき	必要な修繕を早めに行うなど、建物の将来の修繕更新費用を削減するための計画的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。	
30	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続	
31	機能の評価の理由	障がい者の施設利用は増加しており、市内唯一の障がい者の心身の健全な発達を図ることを目的とする施設として現サービスを継続して提供する。また、施設の指導員として障がい者2名を雇用しており、障がい者の就労の場としても現在の重要な役割を果たしている。	
32	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※31が「廃止」以外のとき	維持管理費の削減、障がい者以外の使用者の負担する使用料の適正化に取り組む。	
33	経営の方向性 ※「総量の最適化」、「質の向上」、「投資の厳選」を踏まえた利用用途別分類の経営の方向性	本市を代表する屋内外運動施設として、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。	